

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	指令車整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	03	05
05	85							
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	高市 薫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	指令車	意図	火災等の各署災害活動時における支援業務並びに防火水槽等の消防水利の指導及び検査業務の充実を図るもの。
事業内容	平成10年度に購入し運用してきた車両の経年劣化に伴う機動力等の低下を排除するため、当該車両の更新整備を実施したもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平常時の各署災害対応に加え、年々、発生の可能性が高まっている首都直下地震等の大災害時における消防水利の配置を含めた消防活動への備えが必要な状況である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	火災件数	32	30	21	件
②	消防水利の基準による消防水利の充足率	78	78	78	%	↔↔↔	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						各種災害に対応するため、更新車両を四輪駆動の走破性に優れた車種に変更し機動力の向上を図り、様々な状況下で発生する災害防除活動に活用できる環境を作る。
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			4,850,873				
事業費(b)(円)			2,778,093				
うち一般財源			54,333				
職員給与費(c)(円)			2,072,780				
人役・職員(人)			0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	走破性に優れた車種に変更し機動力の向上を図る。	③取り組みの課題	日々、変化する多種多様な災害形態の事前把握が困難な場合がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	更新車両を四輪駆動の走破性に優れた車種に変更し機動力の向上を図り、様々な状況下で発生する災害防除活動に活用できる環境を作る。	④今後の改善計画	通常時の災害対応に限らず、大規模災害時における活動指針の確立のもと当該車両を運用する。